

## 丸之内通信

### 山田隆二氏工務局長に

鐵道省では平井工務局長が休職となつたので後任として官房研究所長であつた山田隆二氏が新に工務局長となつた。未曾有の不祥事件で潰滅とまでテマの飛んだ國鐵工務關係も新局長を迎えて陣容建直しに邁進してゐる。

### 釘宮磐氏關門所長に

關門海底トンネルの計畫はその後忌まはしき汚名雪辱の意氣に燃える工務、建設兩局の手で著々準備が進められてゐたが、此の國鐵技術の運命を賭けた未曾有の大工事は既に四ヶ年繼續豫算1800萬圓が特

別議會を通過して居り、國策上からも今や遷延を許さないのが前田鐵相以下國鐵首脳部ではこの大任に當る總帥の人選を急いでゐたが、此計畫の主體たる工務局が殆ど潰滅の状態にあるため建設方面から求めた結果我國に於いて潜函工事の權威者たる現信濃川電氣事務所長釘宮磐氏に内定、關門改良事務所を新設その初代所長たらしむることとなり、七月官制發表と同時に正式發命を見る筈である。世界に於ける最初の海底トンネル工事として列強の注目を集めてゐることではあり、かつ國鐵名譽回復の一戦でもまるためその技術陣の編成には萬全を期し、釘宮所長の下に現在工務及び建設の第一線に立ち既にその立案に參畫してゐる三好、立花兩技師をして海底及び陸上の工事に當らしめる豫定で、前田鐵相は去る十七日夜九時東京驛發の列車で現場視察のため西下來月早々には記念すべき第一鍬が力強く打ち込まれることになつた。

尙初代所長の榮冠を獲た釘宮氏は勲任技師で49歳の男盛り、神田で生れた江戸っ子であり、隅田川に架けられた美しい幾多の橋梁は同氏の快腕によつて築きあげられたものである。

## 北米アリゾナ州ベルデ河に築造された連續拱式ダム

アリゾナ州フイニックス市を去る東北54哩の所ベルデ河に連續拱式ダムが築造された。同ダムは基礎の最下端から其の頂上まで270呎あり幅員は750呎ある。15連の鐵筋混凝土拱と9個の中空鐵筋混凝土支持壁を持つてゐる。總水量は2000,000英町呎である。(東京府土木部・中谷茂壽)

(寫眞は同ダム鳥瞰と前面及び凸版は斷面を示す)

